

ウルグアイ共和国大学 ワークショップ

●テーマ

「廃校となる小学校のランドスケープデザイン」

●趣旨

日本の地方は、どこも「少子高齢化と過疎化」という問題を抱えていますが、このワークショップの計画地である厚田も、その現象が甚だしい地域です。

特に子供の数の減少が著しいため、広域の小学生と中学生が集まって学べる新しい校舎を建設することが決まりました。

新校舎の建設に伴い、現在使われているこの小学校は、数年後に廃校になります。まだ確定はしていませんが、廃校後この小学校を宿泊施設として再利用しようという構想があります。しかし、予算は非常に厳しいことが予想されます。

そこで、私は、費用を極力かけなくて良いように、建物内部にはカーテンやついたてなど可動するものを利用した上で「グランドを含む校庭に魅力的なランドスケープ」に重きをおいた計画が、この構想に適しているのではないかと考えています。この校庭の景色が、季節ごとの美しさをみせてくれるものとなれば、この地域に興味をもってくれる人が増えるかもしれません。美しい景色も資源となりうることを伝えたいと思います。

また、幅広い年齢層の人々が気軽に立ち寄ることができ、地域の内外や世代をこえて交流できる場所であることが理想です。

美しい景色が広がり、ここで過ごすひとときが記憶に残る場所、そしてアクティビティを誘発し地域を活性しうる場所の提案をしてみてください。

●計画場所

石狩市立厚田小学校（住所：北海道石狩市厚田区厚田109-2）

<https://www.google.co.jp/maps/place/%E7%9F%B3%E7%8B%A9%E5%B8%82%E7%AB%8B%E5%8E%9A%E7%94%B0%E5%B0%8F%E5%AD%A6%E6%A0%A1/@43.4008294,141.4344136,189m/data=!3m1!1e3!4m5!3m4!1s0x0:0xfdeec597c7a7e32!8m2!3d43.400762!4d141.435158>

●計画の条件

<必須条件>

- 1.敷地内のどこかにバス2台、普通車10台分の駐車スペースを計画してください。歩車分離を考慮した計画を希望します。
- 2.日本の四季を活かす計画をしてください。この計画を行うために、ワークショップの開催前に日本の四季や雪の特性について、各々で調査を行っておいてください。

<任意条件>

- 1.樹木（例えば白樺やメープルなど北国に適した樹種を選択）の美しさを生かした計画を、敷地内の一部または全体で行ってください。
- 2.既存校舎をランドスケープに取り込んでも構いません。
- 3.以下の4シーンを重んじた計画を行ってください。可能であればプレゼンテーション内にてシーンを表現してください。
 - ・ 国道から見える景色
 - ・ 小学校の校舎を背景にした景色
 - ・ 校舎の窓からの景色
 - ・ 校庭の中にいる人から見える景色

●最終プレゼンテーション内容

- 1.提案内容はスライド10～15枚程度におさまるように作成してください。
（ただし、FADUの指導方針を優先させてください）
- 2.スライド内の用語は、できれば英語でお願いします。

●課題作成

塚田眞樹子／塚田眞樹子建築設計
<http://makikotsukada-architects.jp/>